

## 発表論文募集

### ポストコロナ時代の アジア・インクルーシブ・ スマートシティ第2回会議

オンライン開催  
2022年5月19日 - 20日

主催  
京都大学  
経営管理大学院八千代メガ・  
インフラマネジメント政策講座  
及び  
ERIA  
(東アジア・アセアン経済研究センター)

後援  
京都大学アジアビジネスリーダー  
人材育成プロジェクト・パートナー大学  
(一社)日本アセットマネジメント協会  
(一社)グローバルビジネス学会  
(一社)京都ビジネスリサーチセンター

テーマと抄録提出締切り

2022年4月25日

論文提出締切り

2022年7月31日

## 背景と分野

アジア地域の多くは、グローバリゼーションによって危機に瀕しています。アジア地域の都市部や農村部では、地域間格差、貧困、過密、高齢化、天然資源の枯渇など、様々な問題が発生しています。

一方、新型コロナウイルス感染症は、グローバル化した人々の交流ネットワークを介して急速に伝播しています。新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行のなか、各国の都市・農村経済は、経済社会の回復のための強力な推進力を求めて苦闘しています。

しかし、この未曾有のパンデミックの発生は、私たちの生活や企業活動のあらゆる場面に、オンライン・コミュニケーションの浸透など革命的な技術的変化をもたらしました。また、テレワークやオンラインショッピングはもはや夢物語ではなく、日常的な活動となっています。

国や地方自治体は、限られたキャパシティのなかで、新型コロナウイルスの影響を受けた経済や社会の回復と同時に、アジアの都市や地域の根本的な問題を克服するため、様々な政策を展開しています。今こそ既存のシステムを高度化し、新たなデジタル変革技術に支えられた様々なハイパーシステムの構築をめざして、インクルーシブ(包摂的)なスマートシティガバナンスの新しいパラダイムを構築する時期にきているといえるでしょう。そのためには、様々な利害関係者が形成するビジネスエコシステムと、官民パートナーシップに支えられた協働型コミュニティマネジメントのプラットフォームが不可欠です。

コミュニティ・プラットフォームを語る

上で、最も重要なコンセプトは、ソーシャル・インクルージョン(社会的包摂)と市民主導のアプローチであり、実践的なフレームワークとして考慮すべきです。私たちのコミュニティが高度なセンサーやICT技術によって実現される監視型社会のカテゴリーに入る瀬戸際にあることは強調されるべきです。一般に市民主導型アプローチとは、人間の様々な意思やニーズ、そして信頼や仲間への思いやり、協力などを高めるソーシャルキャピタルに満ちたヒューマンネットワーク志向を意味します。スマートシティのガバナンスには、ソーシャルキャピタルやソーシャルインクルージョンというコンセプトが不可欠であると、様々な研究分野や公共政策立案において考えられています。市民が主役のスマートシティを議論し、具体化することは、アジア地域のコミュニティのデジタルトランスフォーメーションを継続的に向上させることに貢献します。

この会議の目的は2つあります。1日目はシンポジウムで、アジア各国の関係者、実務者、研究者を招き、「インクルーシブ・スマートシティ」の概念、理念、政策について幅広い議論を意図的に喚起することを目的としています。2日目は、世界の学術界に開かれたサイエンティフィック・ワークショップです。このサイエンティフィックパートで注目されるトピックは次の通りです。

1. ポストコロナ社会のスマートシティ
2. スマートシティのKPI指標
3. シェアエコノミーとその企画・設計・運営のためのプラットフォーム
4. データ共有とプライバシー保護
5. スマートファイナンス

6. スタートアップとビジネスエコシステム
7. ソーシャルキャピタルとソーシャルガバナンス
8. ポスト都市社会におけるインフラストラクチャー
9. 社会・経済イノベーションのためのデジタルトランスフォーメーション
10. ボランティア、パートナーシップ、ローカルエンゲージメント
11. 観光と地方創生
12. 農村における社会的・経済的イノベーション
13. 気候変動がもたらす農山漁村部への脅威と機会
14. 都市と農村の相互作用
15. 文化体験と観光
16. 感染症や自然災害に対するスマートレジリエンス

論文のテーマは上記に限定されるものではありませんが、インクルーシブ・スマートシティの文脈に関連するものであることが求められます。

この会議は、京都大学と **ERIA** の研究協力ネットワークを土台としています。この学術的なコラボレーションは、京都大学経営管理大学院のアジアビジネスリーダー人材育成プロジェクト、及び日本アセットマネジメント協会のタウンアセットマネジメントプログラムとともに発展しています。この会議は、これまでの **Marginal Areas Research Group (MARG)** の会議シリーズの遺産を引き継いでいます。MARG は、限界集落におけるソーシャルキャピタルに焦点

を当てた国際的な研究ネットワークです。

#### 参加される方へ

この会議は、大学、研究機関、政府機関、実務者、開発者、その他スマートシティや都市・農村開発に関心のある方々を対象としています。様々な国からのご参加を期待しております。

#### 発表される方へ

この会議はオンラインで行われます。参加は原則として無料です。締切日までに事務局に提出された論文は、オンライン講演論文集に掲載されます。編集にかかる費用は、各論文の著者にご負担をお願いします。本ワークショップは、その後、**2022** 年、**2023** 年に数回のワークショップを開催する予定です。事務局では、ワークショップの講演論文集から優れた論文を選び、「**Inclusive Smart Cities in the Post-Covid-19 Arena**」と題した書籍を著名な国際出版社から出版する予定です。

#### 会場（オンライン URL）

追って参加される皆様にお知らせします。

#### 重要な日付

- 2022** 年 4 月 25 日：演題登録
- 2022** 年 4 月 30 日：演題採択通知
- 2022** 年 5 月 19 日、20 日：会議開催
- 2022** 年 7 月 31 日：フル論文提出

#### アブストラクト（抄録）

抄録は 300 ワード以内で、MSWord を使用し、英語で作成してください。演題名、著者名、所属、住所、電話番号、電子メー

*The 2nd Conference on Asian Inclusive Smart Cities in the post Covid 19 Arena, online, May 19-20, 2022*

ルアドレスを明記してください。抄録の送付先は、[aisc-office@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:aisc-office@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

#### 出版方針

会議終了後に提出された論文の中から選ばれたものは、オンライン講演論文集としてウェブサイト上で公開されます。また、国際的な出版社から「**Inclusive Smart Cities in the Post-Covid-19 Arena**」という書籍が出版される予定です。この書籍には、第 1 回及び第 2 回の講演論文集から選定され、しかるべき査読を経た論文が収録されます。

#### 以降の会議シリーズ（予定）

- 第 3 回：メインテーマ「**Smart village**」  
**2022** 年 11 月開催予定
- 第 4 回：メインテーマ「**Beyond Public Private Partnership (PPP)**」**2023** 年 5 月開催予定
- 第 5 回：メインテーマ「**Smart mobility**」  
**2023** 年 11 月開催予定

#### ■企画委員会

##### - CHAIRPERSONS

- Prof. Kiyoshi Kobayashi (Kyoto University)
- Mr. Fumitaka Machida (Financial Expert & Senior Fellow, Economic Research Institute for ASEAN and East Asia (ERIA))
- Mr. Kiyoshi Hasegawa (Director General, International Division, Yachiyo Engineering Co., Ltd.)

#### ■運営委員会

##### - CHAIRPERSON

- Yachiyo Chair Prof. Osamu Fujiki (Kyoto University)

## **-COMMITTEE MEMBERS**

- Prof. Tadashi Yamada (Kyoto University)
- Dr. Keita Oikawa (ERIA)
- Mr. Yoichi Hamatsu (Yachiyo Engineering Co., Ltd.)
- Dr. Ismu Rini Dwi Ari (Brawijaya University, Indonesia)
- Dr. Sharina Fariyah Hasan (International Islamic University Malaysia (IIUM))
- Dr. Nam Le (University of Economics Ho Chi Minh City (UEH), Vietnam)
- Dr. Winij Ruampongpatana (State Enterprise Policy Office, Thailand)
- Ms. Keiko Sakuragi (Kyoto University)

## **■国際科学レビュー委員会**

### **- CHAIRPERSON**

- Prof. Kenji Tsutsumi (Osaka University)

### **- COMMITTEE MEMBERS**

- Prof. Gautam Ray (Kyoto University)
- Prof. Antonette Palma-Angeles (Ateneo de Manila University)
- Mr. Fumitaka Machida (ERIA)
- Assoc. Prof. Kakuya Matsushima (Kyoto University)
- Assoc. Prof. Keiji Murakami (Kyoto University)
- Prof. Ruslan Prijadi (University of Indonesia)
- Dr. Ibnu Syabri (Institute of Technology, Bandung (ITB), India)
- Dr. Tu Anh Trinh (UEH), Vietnam)
- Prof. Khairuddin Bin Abdul Rashid (University Teknologi MARA, Malaysia)
- Prof. Ngov Penghuy (Royal University of Phnom Penh, Cambodia)

- Assoc. Prof. Phouphet Kyophilavong (National University of Laos)
- Prof. Veerasak Likhitrungsilp (Chulalongkorn University, Thailand)
- Prof. Hans Westlund (KTH Royal Institute of Technology, Sweden)

## **■事務局窓口**

Dr. Emi Tohyama  
Graduate School of Management, Kyoto University  
E-mail : [aisc-office@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:aisc-office@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

## **■プログラム (暫定版)**

### **1日目 (2022年5月19日)**

10:00 - 10:30 開会挨拶

Prof. Kiyoshi Kobayashi  
(Kyoto University)

Dr. Koji Hachiyama  
(COO, ERIA)

Dr. Shigemitsu Demizu (CEO,  
Yachiyo Engineering Co. Ltd.)

10:30 - 12:00 基調講演

Prof. Antonette Palma-Angeles  
(Ateneo de Manila University)

Mr. Fumitaka Machida  
(ERIA)

Prof. Phouphet Kyophilavong  
(National University of Laos)

12:00 - 13:30 昼食

13:30 - 13:50 基調講演

Mr. Hirohisa Fujii  
(The mayor of Toyama city - Japan)

13:50 - 15:50 パネルディスカッション

“Inclusive smart cities and town asset management”

Facilitator: Prof. Kiyoshi Kobayashi  
(Kyoto University)

Panelist:

Prof. Osamu Fujiki  
(Kyoto University)

Prof. Kavin Asavanant  
(Chulalongkorn University)

Prof. Ngov Penghuy (Royal Univ. of  
Phnom Penh)

Dr. Poon King Wang  
(Singapore University of Technology  
and Design)

Mr. Naoki Takesue  
(Mitsubishi Research Institute)

16:00 - 17:00 基調講演

Professor Michael Batty (University  
College London)

Assoc. Prof. Tetsuharu Oba (Kyoto  
University)

### **2日目 (2022年5月20日)**

9:50 - 10:00 開会

10:00 - 11:30

Philippines perspectives on smart cities  
Professor Edilberto de Jesus  
(Ateneo de Manila)

11:30 - 13:00

Indonesian Perspective on smart cities  
Professor Ruslan Prijadi  
(University of Indonesia)

13:00 - 14:30 昼食

14:30 - 17:00

パラレルセッション 1

スマートシティの事例

パラレルセッション 2

インクルーシブネス (包摂性)

(including 30 minutes Break)

17:00 - 17:10 閉会挨拶

Yachiyo Chair Prof. Osamu Fujiki  
(Kyoto University)